

ニュースリリース

平成 27 年 11 月 6 日

Komori Graphic Center-Europe リニューアルオープン

株式会社小森コーポレーション(東京都墨田区、代表取締役社長 持田 訓)は、ヨーロッパ市場を統轄している現地法人コモリ・インターナショナル(ヨーロッパ)B.V.の Komori Graphic Center-Europe をリニューアルし、オープンハウスを執り行いました。その概要につきましては、別添の通りご報告申し上げます。

お問い合わせ先

株式会社小森コーポレーション

ソリューションビジネス推進部部长 藤巻 陽介

TEL.03(5608)7806 FAX.03(3624)9519

弊社は、2015年10月14日、オランダ・ユトレヒトの現地法人コモリ・インターナショナル(ヨーロッパ)B.V.のKomori Graphic Center-Europe(以下KGC-E)をリニューアルしました。式典には代表取締役社長 持田訓が出席し、ユトレヒト市長ファン・ザーネン氏、オランダを含む各国の招待客とともにリボンカットセレモニーを行い、印刷の未来やオフセットとデジタル技術の融合、事業活動に対するKOMORIの姿勢についてスピーチし、「KOMORIはオフセット印刷機器メーカーのスペシャリストからプリントエンジニアリングサービスプロバイダー(PESP)に変わりつつあります。新しいページを開くソリューションをお客様に提供できると確信しています。」と述べました。

また、Komori International Europe 社長 小森映宏は、「この新しいKGC-Eとともに、私たちは強い意志を示し、ヨーロッパでの存在感を高めなければなりません。そのために、伝統的なオフセットをルーツとするものを超えて、幅広い設備、製品、サービスを提供していきます。そしてお客様の新しいページを開きます。」と述べました。

式典に引き続きオープンハウスを開催し、最新鋭の4機種の実演を行いました。世界で650台以上受注し、ヨーロッパでは5年で150台採用されている小森独自の乾燥システムH-UVは、菊全判反転機構付8色オフセット枚葉印刷機LITHRONE G40Pと、菊全判5色オフセット枚葉印刷機インラインコーター付LITHRONE G40で紹介しました。

菊半裁寸延5色オフセット枚葉印刷機インラインコーター付LITHRONE S29では、小森の油性印刷の優れた品質についての実演を行いました。新しいパッケージ向けフラッグシップマシン菊全判6色オフセット枚葉印刷機インラインコーター付LITHRONE GX40では、最新の自動化、制御技術、自動ノストッブ搬送による最高印刷速度18,000回転の高生産性を中心に紹介しました。尚、オープンハウスは10月14日～16日の3日間行いました。

リニューアルしたKGC-Eは、床面積と稼働率を2倍に拡張し、プリンティングカレッジ、クリエイティブラウンジ、教育機関とトレーニング設備といったテーマ別のコーナーを備え、ショールームとしての機能を強化しました。また、K-Supply商品のテスト、ソフトウェアやハードウェアのアップデート、機械診断/性能検査、トレーニング、KOMORI-Kareの広範囲にわたるサポートを行います。日本のKomori Graphic technology Center(KGC)をはじめ、アメリカのKGC-America、中国のKGC-Chinaとともに小森の技術的なハブの1つとして、プリントオンデマンド・高付加価値などのソリューションをヨーロッパの印刷会社に提供していきます。